学校番号	T0106

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典 A	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「古典 A」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典に用いられる語句の意味を調べ理解する。
古典を読んで内容を把握する。
古典を読むことをとおして、日本の文化と中国の文化との関係について理解を深める。

2　学習の到達目標

古典を読む能力を養い、古典についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準			評価方法	
			a	b	c		
前期	伊勢物語	古文を読み、親しむ。 心情を理解する。 文法を確認する。 頻出語を覚え、場面に応じて適切に訳す	○	○		a: 古文に描かれているものの見方や感じ方について感心を持とうとしている。 b: 登場人物の心理を押えながら歴史的仮名遣いに注意しておおむね音読できている。	観察 ワークシート 定期考査
後期	故事と寓話	古人のものの見方を考える。 漢文の訓読の基本を確認する。 重要語句を理解する。	○		○	a: 古人のものの見方を考えようとしている。 c: :漢文の訓読の方法を理解している。	観察 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。